

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	学校法人 東北工業大学		
事業所の名称	東北工業大学		
事業所の所在地	仙台市太白区八木山香澄町35-1		
主たる事業	学校教育		
事業者の該当要件	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	2,627.0 t-CO ₂	基準原単位	0.05158
		目標年度	2022 年度	目標排出量	2,495.7 t-CO ₂	目標原単位
			削減率	5.00 %	削減率	5.00 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	2,316.0 t-CO ₂	排出原単位	0.04547
			削減率	11.83 %	削減率	11.84 %
		排出量等の増減理由	コロナ禍により前期の対面授業－11%、オンライン授業－89%・後期の対面授業－54%、オンライン授業－46%と大学構内での授業及び、学内への入構が大幅に制限されエネルギー使用量が激減したため。			
	第2年度	2021 年度	排出量	2,449.0 t-CO ₂	排出原単位	0.0481
			削減率	6.77 %	削減率	6.74 %
		排出量等の増減理由	対面授業とオンライン授業を約5割の割合で実施。学内への入構は一昨年度よりも制限されていることと、学生の滞留施設(主に教室)の空調設備、電気設備の更改が進んでいるため。			
	第3年度	2022 年度	排出量	2,495.0 t-CO ₂	排出原単位	0.04359
		削減率	5.02 %	削減率	15.49 %	
	排出量等の増減理由	主に学生の滞留施設となる教室棟の空調設備の更改、LED化計画が順調に進められていること。また、電気、プロパンガス等を消費する実験教室が実験・教育棟の新築により集約され、効率的な施設の運用がされていることからエネルギー使用量の削減につながっている。				

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	39 %	目標年度	78 %
	第1年度	65 %	実施状況の説明等	コロナ禍による、大学構内入構規制や施設利用規制があったため、通常年度との単純比較は難しいと思われる。
	第2年度	70 %	実施状況の説明等	特になし
	第3年度	75 %	実施状況の説明等	特になし

様式第2号

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	外部機関による省エネ診断		未実施
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		一部実施済
	蒸気トラップの管理		実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理		実施済
	蒸気トラップの管理		実施済
	デマンド管理		実施済
	壁面緑化		実施済
	再生可能エネルギーの導入		実施済
	エコドライブ教育実施		未実施
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	ISO14001の認定を受け運用している。	実施済
	環境教育・学習の実施(従業員以外を対象にしたもの)	各学科の授業科目に環境教育をテーマにした科目を配置している。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	学内ポータルサイト内に、リユース品一覧のホルダーを設け、各部署で使用しなくなった物品を周知し、リユース促進を実施している。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	「東北SDGs研究実践拠点」形成を目指し、教員の研究テーマと17のゴールとの関係を明示するとともに、学内外連携を図っている。	実施済